

国語 一 (現代文)

出題意図

問一 基本的な漢字の知識をもとに、文脈に応じた適切な漢字の読み・書きができるかを問う問題。

問二 本文の内容を正確に把握した上で、ア、カのそれぞれの記述が、本文の内容と合致しているかを判断する問題。

問三 「贈与の霊」の精神「および「地域通貨」の意味を、文脈をふまえながら正確に理解し、その関連性を、定められた字数で的確に表現することができるかを問う問題。

問四 傍線部③の「熱帯の贈与論」は、他の箇所で、「独自の贈与論」「(熱帯の)贈与と交換の仕組み」などとも表現される、いわばこの文章のキーワードである。その「熱帯の贈与論」が形成された理由について書かれている部分を把握し、定められた字数以内でまとめる力を問う問題。

問五 プラン社会における「持つこと」と「持たないこと」との違いについて、本文中から正確に読み取り、それが「無化」されるようなことかを理解した上で、定められた字数以内でまとめる力を問う問題。

国語 二 古典 出題の意図

問一は、基本的な語彙・文法をおさえた上での、文脈の読解力の有無と、それを適切に表現する能力を測る。

問二は、全体の文脈を把握した上で、作者の心情を理解し、それを適切に表現する能力を測る。

問三は、文章の背景にある書物文化の意義を理解した上で、全体の内容を把握し、それを適切に表現する能力を測る。

漢文 出題意図

問一 漢文における基本的な漢字の用法・読みについて確認する。

問二 「幾」の意味を押さえた上で、適切な訳ができるかどうかを問う。

問三 漢文の限定の句法を押さえて、それを書き下し文にできるかどうかを問う。

問四 指示する内容が何であるかを把握した上で、適切な現代日本語として訳出できるかを問う。

問五 辞書には載らないような語について、前後の文脈から、語のもつ意味を的確に敷衍して説明できるかを問う。

問六 前後の文脈から、適切な現代日本語として訳出できるかを問う。

問七 二重傍線部の条件説を用いた文を適切に理解した上で、その内容を踏まえ、作者が主張していることを、本文の文脈に即して的確に説明できるか、またその文章力を問う。